

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2022年4月12日

事業ID:2020554693

事業名:勤労青少年水上スポーツセンター

団体名:公益社団法人日本モーターボート選手会

代表者名:代表理事(会長) 上瀧 和則 印

TEL:03-5114-6211

事業完了日:2022年3月31日

■契約時

事業費総額	:	40,000,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	40,000,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	79,899,887 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	39,899,887 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	40,000,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

- 1.マリンスポーツフェスタ
- 2.キッズスイミングスクール
- 3.社会貢献への歩み講座
- 4.復興地児童交流
- 5.ボートレーサー体験学習
- 6.パラカヌーアスリート交流
- 7.凧造り教室

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.ボランティア講座、ボート乗船会
 2.水泳指導
 3.水質浄化啓発講座
 4.サッカー大会招待
 5.養成所疑似体験
 6.講演、実践体験会
 7.凧の製作



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止した。
 2.キッズスイミングスクールでは市内小学3・4年生20名が参加し、園児プール体験では市内幼稚園・保育園児12名が参加した。
 3.新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止した。
 4.サッカー大会への招待を中止し、トロフィーを寄贈した。
 5.新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止した。
 6.新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止した。
 7.親子20名が参加し、凧の製作後、凧あげをした。

(3)成功したこととその要因

新型コロナウイルス感染症により中止せざるを得ないイベントが多い中、参加人数、回数等を調整し、万全な感染対策を講じた上で実施することにより、無事に終了したイベントがあった。

(4)失敗したこととその要因

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって中止せざるを得ないイベントが多く、実施可能なイベントが少なくなった。地域振興、施設利用者拡大が主な目的となるため、集客できないコロナ禍の影響を大きく受けることとなった。

(5)事業内容詳細

別途報告書あり。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- 1.勤労青少年水上スポーツセンターにおいて、宿泊施設の利用者数は、4,000名、体育施設の利用者数を73,500名見込んでいます。
- 2.水上研修施設を利用した海事思想の啓発・海事知識の修得を目的としたマリンスポーツフェスタを開催し、700名の参加を見込んでいます。また、これと併行して碧南市内の中学生を対象としたボランティア講座を開講し40名の参加を見込んでいます。
- 3.復興地児童スポーツ交流として復興地のサッカーチームを招待し、スポーツ交流を通じた親交事業を予定しています。
- 4.全国の中学・高校生延べ15名を対象に、ボートレーサー養成の体験学習を開講しボート選手養成疑似体験を通して「礼と節」を徳育し、社会人としての人間形成の一助とする機会の提供を予定しています。
- 5.市内の泳げない小学3・4年生を対象に、水に親しむとともに心身鍛錬および海事知識を醸成させる機会として「キッズスイミングスクール」を年1回開講し、延べ210名の参加および園児プール体験を年1回開講し、延べ40名の参加を予定しています。
- 6.パラスリットによる市内小学生50名を対象に講演会及び実践体験会を通して、パラスポーツを身近に感じるとともに水に触れ合う機会の提供を予定しています。
- 7.当会保有の国土交通省指定の特定水域である油ヶ渚で、子供たちに「水」と「環境」の大切さを知育し、油ヶ渚の水質浄化に取り組む啓発講座を予定しています。
- 8.親子で凧を制作し、揚げる教室を開催し、50名の参加を予定しています。

(2)目標の達成状況【700文字以内】

入力文字数	614	文字数チェック	OK
1.宿泊施設利用者数 1,867名うち宿泊者数 1,272名、体育施設利用者数 79,747名となった。			
2.「マリンスポーツフェスタ」は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。			
3.「復興地児童スポーツ交流会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から復興地からの招待を中止したが、会員から提供されたトロフィーを協賛品として寄贈した。			
4.「ボートレーサー養成の体験学習」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。			
5.「キッズスイミングスクール」を従来の全7回から前年度に引き続き5回に縮小して20名、延べ96名が参加した。最終回では同スクールの効果測定を行い、25m完泳者7名には認定証と記念品を授与し、惜しくも完泳に至らなかったほかの受講生には努力証を授与した。			
園児プール体験は、全4回の日程でスクールの幼稚園児向けのカリキュラムに沿ったテストを行い幼稚園・保育園児12名、延べ42名が参加した。			
6.「パラスリット講演会及び実践体験会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。			
7.「社会貢献への歩み」講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となったが、油ヶ渚周辺を地元企業と協力し、水質浄化に向けて清掃活動を行った。			
8.「親子凧作り教室」は新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いつつ開催し、近隣の親子20名が参加した。			

3.事業実施によって得られた成果

当該施設の周辺住民への周知とともに、スイミングスクール等の開催により水に親しむことの楽しさを寄与することに貢献することができた。
地元企業と協力して油ヶ渚周辺の清掃活動を行い、油ヶ渚の水質浄化に向けての一端を担うことができた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症によりイベントの中止が続いており、来年度に向けて新たな実施可能なイベントの考案をし、参加人数を限定して実施するなど実現可能なイベントなどを考える必要がある。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

マリンスポーツフェスティバル、復興地児童スポーツ交流、ボートレーサー養成の体験学習、キッズスイミングスクール、幼児プール体験、「社会貢献への歩み」講座等の報告書作成、当施設のパンフレット作成、各種冊子の作成



(2)事業完了時の成果物名称

キッズスイミングスクール、幼児プール体験、親子凧作り教室の報告書

(3)未作成となった要因

新型コロナウイルス感染症まん延防止のためイベントを中止したため。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

2021年度親子凧作り教室
<https://fields.canpan.info/report/detail/26599>
2021年度幼児プール体験
<https://fields.canpan.info/report/detail/26601>
2021年度キッズスイミングスクール
<https://fields.canpan.info/report/detail/26602>

収支計算書

(2021年 4月 1日から 2022年 3月31日まで)

団体名:	公益社団法人日本モーターボート選手会
事業名:	勤労青少年水上スポーツセンター

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	未収額 自動計算(A-C)	助成金返還見込額 自動計算(A-B)
①日本財団助成金収入	40,000,000	40,000,000	40,000,000		
②自己負担		39,899,887	39,899,887		
③収入合計	40,000,000	79,899,887	79,899,887	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額 自動計算(y-z)	補足説明、備考
給与	26,013,000	15,196,145	15,196,145		
福利厚生費	5,249,984	2,880,686	2,880,686		
賞与	5,996,156	4,551,243	4,551,243		
退職給付費用	1,091,208	1,400,880	1,400,880		
旅費交通費	1,009,104	1,040,834	1,040,834		
社会貢献事業費	7,493,806	514,343	514,343		
普及協賛費	318,459	239,844	239,844		
給食材料費	4,572,000	632,739	632,739		
衛生費	3,280,650	2,043,858	2,043,858		
物品販売原価	1,327,200	212,622	212,622		
節整備維持費	3,943,841	3,681,172	3,681,172		
業務委託費	13,579,332	11,130,267	11,130,267		
事務費	36,857,000	35,861,505	35,861,505		
教育費	176,000	0	0		
顧問費	283,080	283,800	283,800		
交際費	604,420	23,375	23,375		
雑費	472,000	206,574	206,574		
自己負担額	-72,270,000				
支出合計(端数調整前)	39,997,240				
端数調整欄	2,760				
④支出合計(端数調整後)	40,000,000	79,899,887	79,899,887	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。